

# 書くことを楽しみ、文字を大切にすることを育む書写学習

～入門期「ひらがなのがくしゅう」を通して（1年）～

阿南市立富岡小学校 教諭 松岡 弘子

## 1 はじめに

本学級には、男子16名、女子15名の計31名の児童が在籍している。入学時から何事にも真面目な態度で取り組もうとする児童が多く、新しい学びに対して新鮮で前向きな気持ちが表情からも窺えた。新しい文字を習う際には、自分の名前に入っている文字が出てくると喜び、意欲的に覚えようとする姿も見られた。このような、入門期に感じた学ぶことの楽しさや喜びを今後も持続させ、積み重ねていきたいと感じた。そこで、書くことを楽しみ、文字を大切にすることを育む活動を柱として、自ら課題をもち、よりよい見方や考え方を友達と認め合いながら解決し、日常生活に生かしていこうとする生きる力を育む書写学習を進めていきたいと考えた。

## 2 研究主題について

1年生の児童は現在、学びを楽しみ、自分の思いが表現できるようになった喜びや、上手に書けたことをほめられたい欲求、教師の指導する通りに正しく丁寧に書こうとする素直な気持ちに溢れている。しかし時間とともに、基礎・基本が十分に定着していないために満足した文字が書けず、意欲が低下していく児童がいる。また、学習内容が多くなることで整った文字を書くよりも速く書くことを優先するようになり、字形が崩れていく傾向にある。それが習慣化すると、整った文字を書く力があるにも関わらず、丁寧に書こうとしなくなることもある。

そこで、学びを素直に楽しむことができる入門期だからこそ、まず、基礎・基本の定着を図りたい。そして、書くことを楽しみ、文字を大切にすることを育むための教科等横断的な指導に取り組んでいきたいと考え、本主題を設定した。

## 3 指導の実際

### (1) 入門期の基礎・基本の定着

①授業に取り組む環境づくり（正しい姿勢・鉛筆の持ち方の合い言葉、机上の整頓の仕方）

②教科等横断的な学習での基礎・基本づくり

（書写用語、体幹トレーニング、ビジョントレーニング・コグニティブトレーニング）

### (2) 文字を身近に感じ、書くことを楽しむ活動の工夫

①書写学習の充実（教具を用いた効果的な授業の実践、練習プリントの工夫）

②文字を書くことを楽しむ活動の工夫（平仮名仲間づくりゲーム・ICTを活用した平仮名学習）

③文字に親しむ環境づくり（書写学習の掲示、書写修行コーナー）

### (3) 文字を書く喜び（成功体験）の積み重ね

①書写プリント等の評価と積み重ね（友達との相互評価、教師・保護者からのコメント、教師による常時評価）

②相手意識をもった手紙や作品づくり（ノート等の常時指導、朝顔の生長記録・叩き染め、お礼の手紙・招待状）

## 4 成果と今後の課題

取組の積み重ねにより、ほとんどの児童に基礎・基本が定着した。児童や保護者から、書くことに対する前向きな意見も聞かれた。書くことを楽しみ、文字を大切にしようとする心が育ってきたと感じる。一方で、整った文字を書くのに長時間を要する児童や、心の不安定により文字が乱れる児童もいる。また、絶えず指導を続けなければ文字を大切にしようとする思いは持続しない。今後も基礎・基本の指導を続け、児童が進んで「書きたい」と感じる取組を積み重ねたい。

## 5 おわりに

手書き文字には、情報を伝達するだけでなく、書き手の個性や温かさ、味わい深さ、相手を尊重する気持ちなどを伝え、書いた当時の思いを引き出したり自分の心を整えたりする役割があると考えられる。手書き文字の必要性が薄れている今日であるからこそ、文字に親しみ、書くことの楽しみを味わうことで手書きのよさに気付かせ、文字を大切にすることを育んでいく取組を続けたい。そして、豊かな心をもった生きる力のある子どもたちの育成をめざしていきたい。